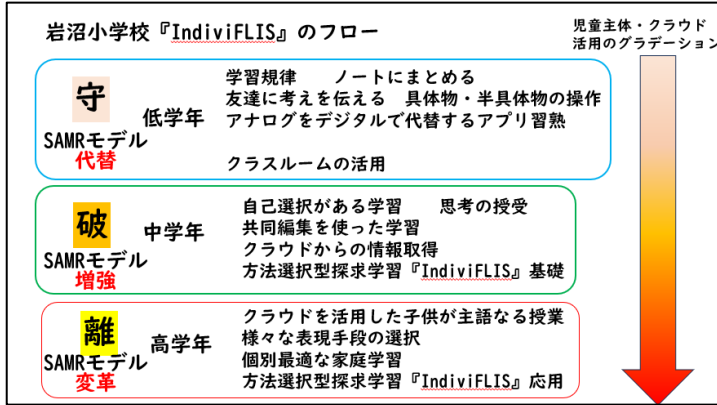
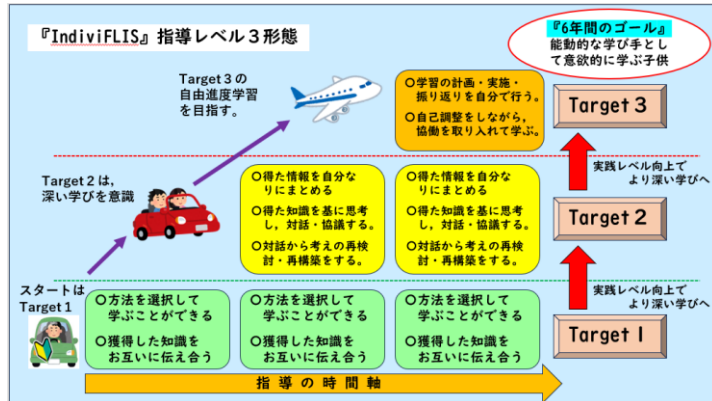


【取組内容①】「構築した指導理論と系統的指導計画の構築で、新しい授業観による授業実践ができる教員を増やす」



本年度の担任・専科が行った実践授業

3年 算数 「大きな数のかけ算」	3年 算数 「分数の計算」
3年 社会 「消防署のしごと」	3年 理科 「植物の成長」
3年 社会 「市のうつつりかわり（自由進度学習）」	
3年 国語 「人をつつむ形（自由進度学習）」	4年 算数 「広さの表し方を考えよう」
4年 理科 「月や星の見え方」	5年 算数 「図形の角」
5年 国語 「注文の多い料理店」	5年 社会 「食料生産」「日本の輸出・輸入」
5年 理科 「魚のたんじょう」「流れる水のはたらき」「人のたんじょう」	
	5年 家庭科 「調理工程の手順まとめ」
6年 算数 「計算領域の習熟」	6年 社会 「人物のまとめ」「文化のまとめ」
6年 外国語 「外国の文化」	6年 理科 「動物の体のはたらき」
6年 理科 「生き物のくらしと環境」「月の形と太陽」「電気とわたしたちのくらし」	
	「大地のつくり」「大地の変化」「地球に生きる（自習進度学習）」
6年 家庭科 「まかせてね今日の食事」	特別支援 「共同編集で校外学習のまとめ」



授業実践による指導の検討や授業視察による助言によって、IndiviFLISの指導方法論を構築することができた。GIGA研修とマニュアルによって、新しい授業観を意識した本校教員による授業実践が多く展開された。IndiviFLISは、低学年では学習の基盤となる力を着実に高めることや、紙媒体からデジタルへの置き換えアプリケーションの習熟をメインに据えている。

したがって、IndiviFLISの本格的スタートは3年生からとなる。また、IndiviFLISの指導レベルを3形態に設定し、Targetが上がるごとに深い学びへとつながるようになっていく。来年度は、これらの構造の下、一斉指導とIndiviFLISの両方が充実したハイブリッドによる指導ができる教員の育成を目指していく。